

1 ワクチン接種の状況

真岡市においては医療機関の協力のもと、他市町比較してもワクチン接種がスムーズに進んでいます。医療関係者の方には心より感謝と敬意を表します。ワクチンの供給については、安定的な供給体制が構築されつつあります。収束に向けた出口戦略を進めるためにも、ワクチン接種による「集団免疫」と、治療薬の開発を早急に進めることが、「日常」を取り戻す最善の策だと思います。特に若年層の接種を進めていくことが急務でありますので、引き続きのご協力をお願い致します。



真岡市の
コロナワクチンについて
詳しくはこちら



2 若年層の投票率向上に向けた取組について

今年度栃木県では全国で初となる、投票率向上に向けた取組が始まります。若年層の投票率向上のための行動計画を策定し、併せてオンライン等を活用した主権者教育を行い、社会的な課題となっている投票率の低下に歯止めをかけます。



3 性的自画像撮りを規制する条例(青少年健全育成条例)が可決しました

児童生徒が言葉巧みに「裸」などの写真を要求される性的自画像撮りは、写真を送ったことが弱みになって、呼び出されて未成年淫行や人身取引などの大きな犯罪に繋がる行為です。「うちの子に限っては」と思わず、その危険性について、是非とも家庭内で周知を図って頂きたいと思えます。

18歳未満の青少年に裸の画像などの提供を要求する行為は、条例で禁止されます。栃木県青少年健全育成条例が改正されます。(令和3(2021)年7月1日施行)

年齢層	2019年	2020年	2021年
小学生	10	15	20
中学生	15	20	25
高校生	20	25	30
その他	5	10	15

お問い合わせ先
栃木県青少年健全育成課
〒320-8501 栃木県宇都宮市南大宮1-20
電話 028-623-3075 FAX 028-623-3150

条例改正について
詳しい概要はこちらのQRから



6月通常会議一般質問において

ごあいさつ

拝啓 初秋の候 皆様におかれましては、コロナ禍の中におきまして、様々なご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

また、私の政治活動におきましても特段のご支援を賜り、衷心より御礼申し上げます。さて、私の議員活動も3年目に入り、本年度は「農林環境委員会」の副委員長を拝命し、また今年度新たに設置された「グリーン社会特別委員会」の委員にも配属頂きました。農業・環境共に、超少子化による影響や、気候の変動に関する様々な課題が顕在化し、中長期的な視野に立った根本的な解決を進めていく必要があると感じています。将来に向けた施策展開に向けて、現場の声を聞きながら、しっかりと進めて参ります。

また、新型コロナウイルス感染症の影響がまだまだ続く中、県においても、「感染拡大防止と経済活動の両立」に向けた取組を進めていますが、まずはワクチン接種を早急に進め、一日も早く「日常」を取り戻せるよう、引き続き全力で取組んで参ります。

私は政治の役割は、様々な課題を少しでも前に進めることが大きな役割だと感じています。無理矢理な対立軸をつくることや、重箱の隅をつつくような政治ではなく、将来を見据えた「前に進める政治」を心掛けて、今後とも県民の安心のために精一杯活動して参りますので、引き続きのご支援を何卒宜しくお願い致します。

敬具

栃木県議会議員 石坂 まさる



ホームページ



Facebook



Instagram

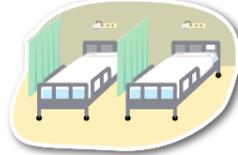
〔活動報告①〕

県議会における新型コロナウイルス感染症対策について

8月26日に開会された第378回臨時会議において、新型コロナウイルス感染症への対策として、6項目の補正予算が可決しました。県営ワクチン接種会場設置への経費や、時短要請への協力金、また、その他飲食業や時間短縮要請において影響のある業種への支援金等が計上されました。

軽症者等対応救急医療機関協力金

新型コロナウイルス感染症の軽症者等の救急搬送を受け入れて、酸素投与等を行う医療機関に対する協力金



軽症者療養体制確保事業費

軽症者受け入れのための、医療体制の強化・宿泊療養施設の追加(県央地区・県南地区)を図るための経費



栃木県地域企業事業継続支援金

緊急事態宣言を受け、飲食業の時間短縮要請や、外出自粛において影響を受けた中小法人・個人事業主への支援金。

支給対象: R3年9月の月間売上が、R元年またはR2年の同月比で30%以上50%未満減少した法人または個人事業主

詳しい概要はこちらのQRから



〔活動報告②〕

早期整備に向けて穴川幹線を視察

栃木県土地改良連合事業団会長として、佐藤勉代議士が穴川幹線の視察を行い、県議会の農林環境委員会の副委員長として同行致しました。

現地を視察し、様々な課題を目にしました。農業用水利施設としての改修や整備を進めることは当然ですが、農業のスマート化や、排水や防災に対する視点も含めた複合的な視点での整備計画を進め、歴史ある穴川用水が地域の資源として持続的に活用できるよう、早急に予算化に向けた取組を進めていきます。



〔活動報告③〕

9月補正予算の編成に伴い、知事に要望書を提出

とちぎ自民党からは4項目20重点事業を要望致しました。

- ①新型コロナウイルス感染症対策の推進について
- ②安全・安心な暮らしの実現について
- ③県内経済の活性化について
- ④教育行政の推進について

以下主要な要望事項を抜粋致しました。



子どもを守る交通安全対策

令和3年6月、千葉県八街市において児童の列にトラックが衝突する事故が発生致しました。このような事故から子供たちを守るために、**即効性のある交通安全対策の実施を要望**し、9月補正予算での予算化を実現しました。



妊娠SOSにおける相談体制の早期整備

若年層における予期しない妊娠等に関する相談窓口(妊娠SOS)が、**関東圏内(1都6県)で本県のみが専用の窓口を設置していない状況にあることから、速やかに相談支援体制を整備することを要望**し、9月補正予算において予算化されることとなりました。



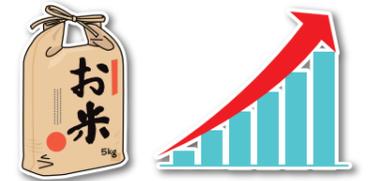
地域企業感染症対策新事業展開支援事業費

コロナ禍において、様々な業種における経営悪化が深刻化する中、事態収束の見通しが立っておらず、今後の更なる悪化が懸念されることから、**日常生活を支えるべく業務を継続する事業者への支援や、新事業を展開する事業者への支援に取り組みことを要望**し、**新事業展開への支援について9月補正予算において予算化が実現**されます。



県産米の消費拡大事業費

コロナ禍における外食控え等により、米価の下落が大きくなっていることから、消費拡大の下支えとして、**県産米の消費拡大事業費の増額を要望**致し、9月補正予算において予算化されることになりました。



詳しい概要はこちらのQRから

